

(お知らせメモ)

柏崎刈羽原子力発電所構内
荒浜側水処理建屋(非管理区域)の外壁のはがれについて

2018年1月23日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

本日(1月23日)午後0時20分ごろ、荒浜側水処理建屋上部において、強風により外壁(鋼板)がはがれていることを確認しました。

午後1時現在、同建屋の南壁約7m×約10mがはがれ、建屋内に雨水が流入する状況となったため、建屋内の設備保護のための電源停止等の処置を実施いたしました。また、当該エリアへの立ち入りを制限するとともに、はがれた外壁を固縛する準備を進めています。

当該建屋では、発電所内で使用する純水を精製する機器等が設置されておりますが、発電所内で使用する純水は備蓄されており、発電所運営上の影響はありません。また、当該建屋は非管理区域であり、外部への放射能の影響はありません。

なお、本事象による人身・公衆災害などは発生しておりません。

以上

添付資料

- ・現場写真
- ・発生場所

荒浜側水処理建屋の外壁のはがれについて



柏崎刈羽原子力発電所 屋外

【現場写真】荒浜側水処理建屋



荒浜側水処理建屋